

玄米の美味しさを知る



▲美味しそうに頬張っていました

3月8日、農業組合法人千年塾から「金のいぶき」が小学校に無償提供されました。白米と混ぜて食べることの多い玄米ですが、金のいぶきは従来の玄米に比べ食感が柔らかいため、玄米100%で美味しく食べることができることや給水性が高いため、白米と同様に炊飯器で時間をかけずに炊くことができることから近年注目されているお米です。児童からも「甘みがあって美味しい」「思っていたより堅くない」と好評でした。

ななカフェ開催！



▲鮮やかな作品を見て楽しむ様子

3月10日、高齢者センターを会場に「ななカフェ」が開催されました。地域支援事業「つるし雛(七宝まり)づくり」の作品を飾るとともに、認知症の人やその家族の理解を深め、みんなで支え合うまちづくりを推進することを目的として開催されました。集まれた方々は、数多くの素晴らしい作品に感動した様子でじっくりと眺めていました。その後分かりやすい寸劇で認知症への対応や物忘れ外来受診の様子について学びました。

手先を器用にコツコツと



▲高齢者センターで作業する様子

3月15日、関老人クラブの方々が集まり、今年の8月に開催される「わらじで歩こう七ヶ宿」のお土産品を製作しました。6年前から毎年デザインが異なるアクリルたわしを参加者に渡すようになり、毎年約500個を製作しています。今年分は去年の11月頃から先生に作り方を教わり、それぞれ自宅でコツコツと編み、この日は仕上げを行いました。「みんなで集まって話しながら作るのが楽しい」と和気あいあいと作業していました。

シルバー人材会員の活躍



▲住宅の除雪作業の様子

12月から2月下旬にかけて七ヶ宿町シルバー人材センターの会員の方々が町内の除雪作業を行いました。会員4名で関地区を中心に高齢者世帯の住宅延べ22件の除雪を行いました。今年は積雪が多かったため、1日に2、3件をこなす日もあり、除雪作業が難しい高齢者の方々にとっては会員の活躍が大いに期待されています。これから夏場にかけては公共施設や一般住宅の除草作業が行われます。

関保育所ひなまつり会



▲可愛いおだいりさまとおひなさまになりました

3月2日、関保育所でひなまつり会が行われました。子ども達が折り紙で手作りしたひな飾りと一緒に、ひな人形が飾られ、華やかなホールになっていました。子ども達は、「うれしいひなまつり」を元気よく歌い、先生からのひなまつりに関する話にも興味津々に聞き入っていました。その後、段ボールで作られた顔パネルのおだいりさまとおひなさまになりきり記念写真を撮りました。最後に美味しそうにひなあられを食べお祝いしました。

熱戦！そり大会



▲そりすべりを楽しむ様子

3月4日、七ヶ宿スキー場主催で「大人も子どももそり大会」が開催されました。当日は春日和の温かい気温の中、町内外から80の方がエントリーしました。家族連れから大人のみ参加者までトーナメント方式で行われ、約1時間の熱戦が繰り広げられました。見事入賞された方には表彰が行われ、記念品が手渡されました。子どもから大人まで本気になって楽しむことができたそり大会となりました。